

平成 22 年 4 月 6 日

会 員 各 位

一 般 社 団 法 人  
日 本 歯 学 系 学 会 協 議 会  
理 事 長 赤 川 安 正



日本歯学系学会協議会 平成 22 年度第 1 回シンポジウム  
「歯科における臨床疫学研究の推進に向けて」のご案内

冠省 平素より、日本歯学系学会協議会の活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

この度、一般社団法人 日本歯学系学会協議会では、「歯科における臨床疫学研究の推進に向けて」と題して、シンポジウムを以下のように企画致しました。各学会におかれましては、是非とも会員の皆様にご周知いただきますようお願い申し上げます。多数の方々のご参加をお待ちしております。

早々

記

日本歯学系学会協議会 平成 22 年度第 1 回シンポジウム  
「歯科における臨床疫学研究の推進に向けて」

日時：平成 22 年 5 月 29 日（土曜日）10：30-13：00

場所：昭和大学旗の台キャンパス 1 号館 7 階講義室

〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8（旗の台駅東口下車徒歩 7 分）

1. 開会の辞

2. 挨拶

3. シンポジウム

10：30～11：00 「歯科臨床研究の推進」

中山 健夫（京都大学健康管理学講座 健康情報学分野教授）

11：00～11：30 「MINDS の概要説明」

吉田 雅博（（財）日本医療機能評価機構 EBM医療情報部）

11：30～12：00 「歯科における臨床疫学研究の現状と課題」

・ 歯科における臨床疫学研究の現状(仮) 花田 信弘（日本口腔衛生学会）

・ 歯周病と糖尿病に関する疫学研究の課題(仮) 島内 英俊（日本歯周病学会）

12：00～12：30 「歯科におけるガイドラインの現状と課題」

・ う蝕治療ガイドライン(仮) 桃井 保子（日本歯科保存学会）

・ 有床義歯補綴診療ガイドライン(仮) 佐々木啓一（日本補綴歯科学会）

12：30～13：00 総合討論

4. 閉会の辞

一般社団法人日本歯学系学会協議会  
シンポジウム企画  
「歯科における臨床疫学研究の推進に向けて」

<シンポジウム趣旨>

臨床疫学研究は、さまざまな診療ガイドラインの策定、医療技術評価提案書（厚生労働省）の作成、あるいは新技術・薬剤の評価等を推進する上で、基礎データ（エビデンス）を提供する重要な取り組みといえる。しかしながら、とりわけ歯科領域においては、その研究展開が十分な広がりを見せておらず、医科領域と比較して非常に立ち遅れているのが現状である。例えば、医療情報サービス「Minds（マインズ）」を閲覧すると、脳神経系疾患、眼・耳鼻咽喉科疾患、呼吸器系疾患あるいは循環器系疾患等について、60件もの診療ガイドラインが掲載されているにも拘わらず、歯科疾患に関する診療ガイドラインは僅か1件のみであり（2009年12月1日現在）、日本の歯科領域における臨床疫学研究の脆弱さを端的に示すものといえよう。

そこで歯科における臨床疫学研究を推進するためには、科学的、倫理的、制度的ならびに法的基盤を正しく認識することが必須であり、さらに研究推進を阻害する要因を的確に把握しておかねばならない。

本シンポジウムでは、臨床疫学研究に造詣の深い先生、実際に臨床研究に取り組んだ経験のある臨床家・研究者、ならびに診療ガイドラインを策定した経験者等から話題を提供していただき、わが国の歯科における今後の臨床疫学研究推進に資することを目的とする。

<シンポジウム日程>

日時平成22年5月29日（土） 10:30-13:00

会場：昭和大学旗の台校舎 1号館7階講堂

<プログラム案>

- 10:30-11:00 歯科臨床研究の推進：  
京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野教授 中山健夫先生
- 11:00-11:30 Mindsの概要説明：  
(財)日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部 吉田雅博先生
- 11:30-12:00 歯科における臨床疫学研究の現状と課題
  - ・歯科における臨床疫学研究の現状：花田信弘先生（日本口腔衛生学会）
  - ・歯周病と糖尿病に関する疫学研究の課題：島内英俊先生（日本歯周病学会）
- 12:00-12:30 歯科におけるガイドラインの現状と課題
  - ・う蝕治療ガイドライン：桃井保子先生（日本歯科保存学会）
  - ・有床義歯補綴診療ガイドライン：佐々木啓一先生（日本補綴歯科学会）
- 12:30-13:00 総合討論

# 昭和大学案内図

## 《旗の台キャンパス》

